

特別講演会

獨古 薫先生は、次世代リチウム電池・ポストリチウム電池について、その基礎科学を確立しながら開発を進める新進気鋭の電気化学者である。今般、大学院自然科学研究科の非常勤講師をご担当いただきます。この機会に、次世代リチウム電池・ポストリチウム電池研究で世界をリードしている先生のご研究について伺う講演会を開催します。



日時:平成 25 年 7 月 18 日 16:30-17:30
会場:物質生産棟 751 号室
講師:獨古 薫 横浜国立大 准教授

溶媒和イオン液体の物理化学特性と電池適用

電気自動車用や電力貯蔵用電源として特に注目を集めているリチウム系二次電池へのグライム-リチウム塩溶融錯体(溶媒和イオン液体)の適用について紹介する。溶媒和イオン液体は、難揮発性、難燃性以外にもユニークな物性を有しており、その特徴を生かすことにより、革新的な性能を有する次世代電池を構築できる可能性がある。今回は、溶媒和イオン液体を電解質に用いた次世代電池の研究開発の動向を、最近の我々の研究成果を含めて紹介したい。

連絡先:梅林 泰宏 内線 6265
yumescc@chem.sc.niigata-u.ac.jp